

# ゆふだけ 由布岳



由布岳は噴出物の調査から約2000～2200年前に規模の大きな噴火活動があったと考えられています。このときの噴火では山頂に溶岩ドームが形成され、火砕流や大量の火山灰が噴き出しました。この噴火以降は、古文書に残る有史時代の噴火は知られていないため、最近の約2000年間は静穏であると考えられます。

## 湯布院の魅力

由布岳のふもとに広がる湯布院温泉は、自然環境と住環境を大切にしながら発展してきた温泉地です。豊かな自然や美しい景観、話題性のあるイベント、数多くの美術館や工房など、温泉保養地としての魅力にあふれ、年間あたり400万人もの観光客が訪れます。



早朝の金鱗湖



由布岳(ゆふだけ)



朝霧に浮かぶ由布岳

# つるみだけ 鶴見岳      がらんだけ 伽藍岳



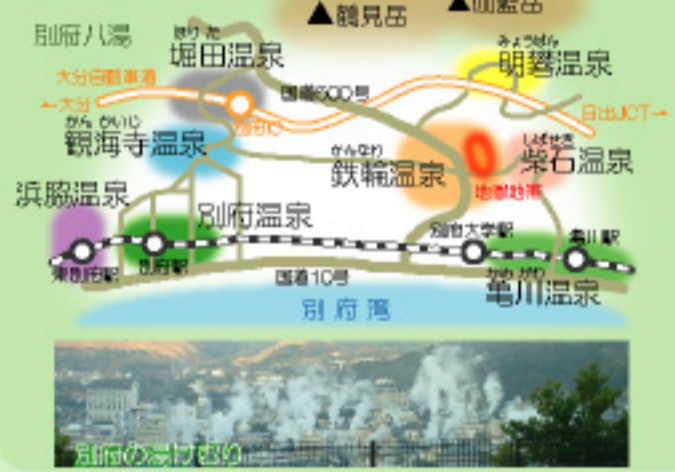
鶴見岳は約1200年前に噴火をしたと考えられている活火山です。現在も山頂の北側にある赤池付近で噴気が上がっていますが、ロープウェイで気軽にいくことができる山頂付近では、火山活動の影響はなく安全です。



伽藍岳は鶴見岳の北側にある活火山で、古文書や噴出物の調査から西暦867年に噴火した可能性があると考えられています。現在も活発な噴気や泥火山の活動を見ることができます。

## 別府八湯と地獄めぐり

火山の恵みによって得られる別府の温泉の総湯出量は全国で1位の約13万キロリットル(1日あたり)。この大量の温泉が「別府八湯(べっふはつとう)」と呼ばれる個性ある温泉郷や、奇蹟として有名な「地獄」を形づくっているのです。



# 豊の国の火山

(別府・湯布院地区)



ゆふだけ 由布岳



つるみだけ 鶴見岳



がらんだけ 伽藍岳



日出町 嵯峨山からのながめ

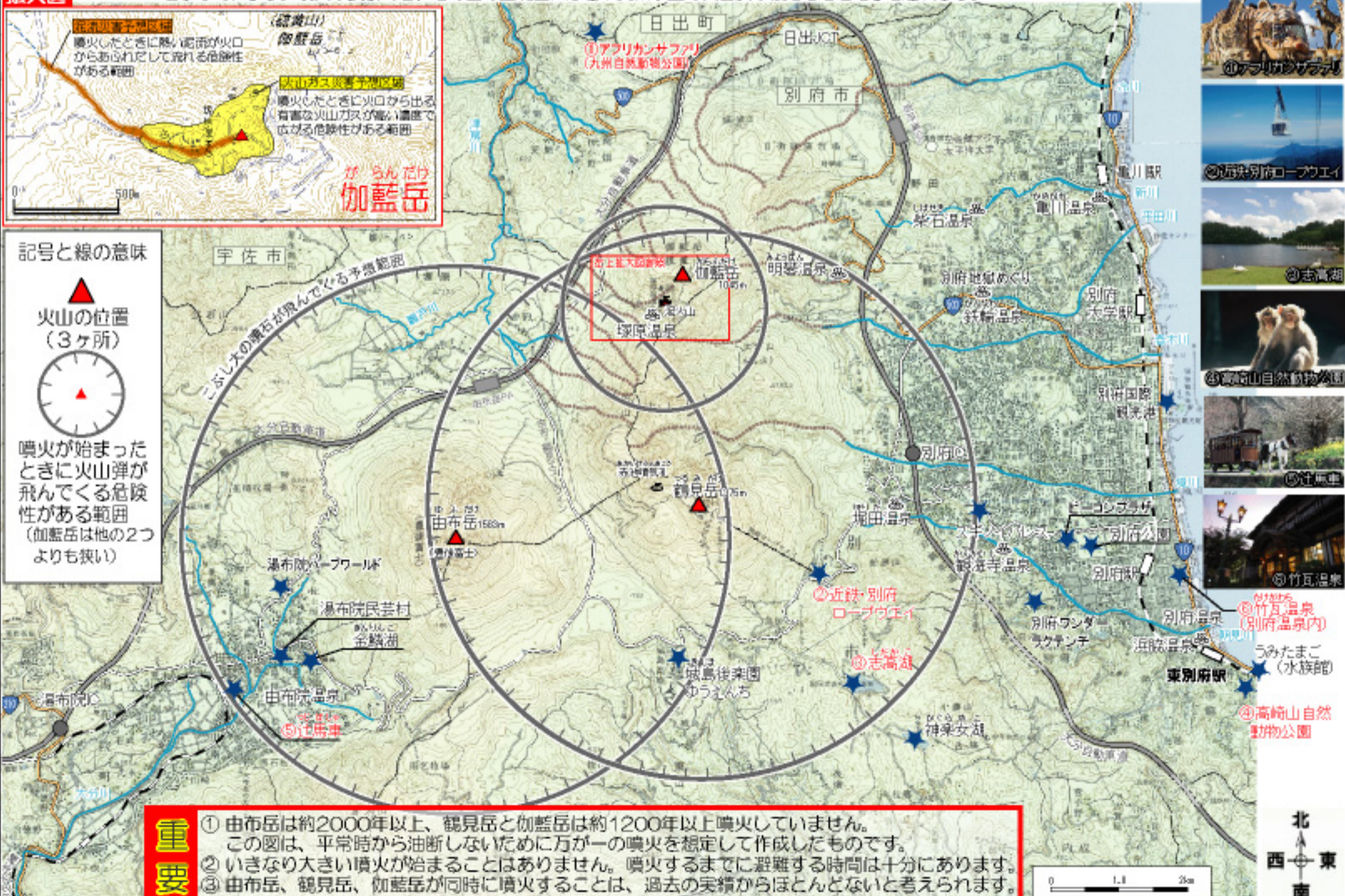
大分県土木建築部砂防課

由布岳、鶴見岳、伽藍岳は、気象庁が定めた「活火山」です。(気象庁の定義では、鶴見岳と伽藍岳をあわせて「鶴見岳・伽藍岳」と呼んでいます。)安全に火山の恵みを楽しんでいただくために、大分県および地元の市町村では火山の防災対策をすすめています。火山防災マップについて詳しく知りたい方は下記までお問い合わせください。

連絡先・問い合わせ先 大分県土木建築部砂防課(直通) 電話097-537-2213

平成18年6月発行

**拡大図** この図では、由布岳、鶴見岳、伽藍岳のいずれかが、もしも噴火したときに火山弾(こぶし大の噴石)が飛んでくる危険性がある範囲を示しています。噴火が長引くと、この図の全範囲に厚さ10cm以上の火山灰が積層することも予想されます。



**重要** ① 由布岳は約2000年以上、鶴見岳と伽藍岳は約1200年以上噴火していません。この図は、平常時から油断しないために万が一の噴火を想定して作成したものです。  
② いきなり大きい噴火が始まることはありません。噴火するまでに避難する時間は十分にあります。  
③ 由布岳、鶴見岳、伽藍岳が同時に噴火することは、過去の実績からほとんどないと考えられます。



この地図は、国土院院長の承認を得て、国土地理院の1:25,000地形図及び1:50,000地形図を複製したものである。(複製番号 平11-029号)